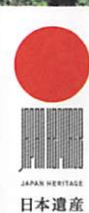


日本最古の学校
国指定史跡



足利学校

日本遺産認定！
めざせ！世界遺産！

史跡足利学校参観案内

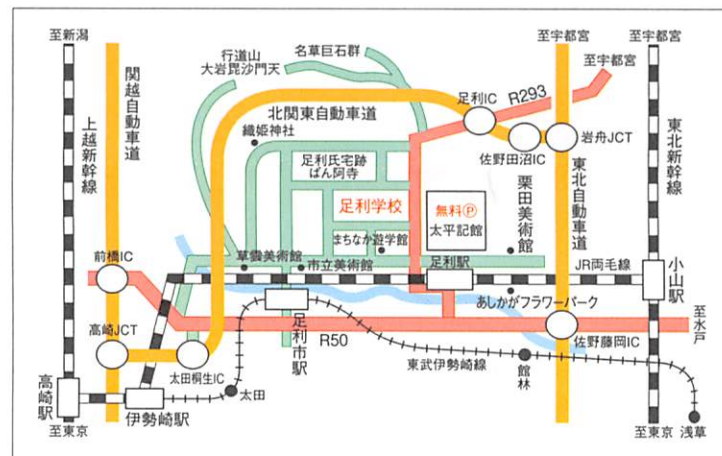
参観時間 4月～9月 午前9時～午後5時（受付は4時30分まで）
10月～3月 午前9時～午後4時30分（受付は4時まで）
休 日 原則第3水曜日（11月のみ第2水曜日）
年 末（12月29日～12月31日）
施設整備のため臨時に休むことがあります。

参 観 料（消費税を含んでいます）

対 象	個 人	団体(20人以上)
一 般	420円	350円
高 校 生	220円	170円

※中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は提示で無料

案 内 図



- 交通 電車／東武伊勢崎線 足利市駅から徒歩15分
J R 両毛線 足利駅から徒歩10分
車／東北自動車道 佐野藤岡ICから40分
北関東自動車道 足利ICから15分
太田桐生ICから20分
佐野田沼ICから20分

史跡足利学校事務所

〒326-0813 栃木県足利市昌平町2338
TEL 0284(41)2655
FAX 0284(41)2082
E-mail gakkou@city.ashikaga.lg.jp
https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/site/ashikagagakko/

国中最も大にして、最も有名な坂東の大学」と世界に紹介され「学徒三千」といわれるほどになりました。
江戸時代になると、貴重で良質な漢籍を有する文庫として、多くの文人や学者を受け入れました。江戸時代の末期には「坂東の大学」の役割を終え、明治時代の初めに幕をおろしましたが、足利学校の自学自習の精神は現在に引き継がれています。
昭和五十七年より「史跡足利学校跡保存整備事業」を実施し、平成二十七年には、水戸弘道館、備前閑谷学校、日田咸宜園とともに「近世日本の教育遺産群」として日本遺産に認定され、更に世界遺産を目指して取り組んでいます。また、生涯学習の拠点として、論語素読体験等の各種事業を行っています。

1 入徳門

入徳の額は、天保十二（一八四〇）年に掲げられたものです。現在の建物は裏門を移築したものといわれています。

2 学校門

寛文八（一六六八）年の創建。足利学校のシンボルとして現代へ継承されています。

字降松

読めない字や意味の解らない言葉などを、紙に書いてこの松の枝に結んでおくと、翌日にはふりがなや注釈がついていたことから「かなふり松」と呼ばれるようになったと伝えられています。第七世庫主九華のころの物語（伝説）です。



字降松

3 杏壇門

寛文八（一六六八）年の創建。明治二十五（一八九二）年に、町の大火の飛び火により屋根門扉が焼け、同三十年代に再建したものです。杏壇は孔子が弟子たちを教えたところに、杏の木が植えられていたことに由来しています。

不断梅

杏壇門を入って左手にあります。実が熟さないため、青い実が黒くなり冬まで枝に残っています。常に実が断えないことから、その呼び名があります。

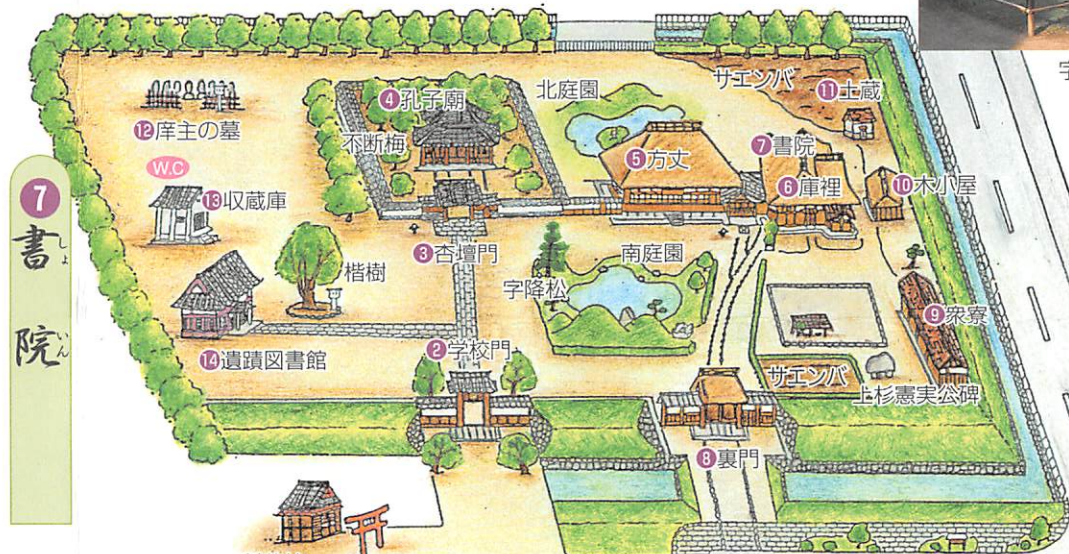
4 孔子廟（聖廟）

寛文八（一六六八）年徳川幕府四代將軍家綱の時に造営されたもので、中国明時代の聖廟を模したものと伝えられています。

釋奠

「釋奠」は儒学の祖である孔子と、その弟子をまつる儀式で、この言葉には「供え物を置く」という意味があります。現在、史跡足利学校、東京の湯島聖堂、岡山県備前市の閑谷学校、佐賀県多久市の聖廟などで行われています。

＊足利学校では毎年十一月二十三日



庫主の書齋。庫主の接客や、学生に個人授業が行われたところです。

5 方丈

学生の講義や学習、学校行事や接客のための座敷として使用されたところです。

6 庫裡

学校の台所。食事など日常生活が行われたところです。

8 裏門

学生や一般の人の通用門として使用されていました。

9 衆寮

学生が勉強したり、生活したりしたところです。

10 木小屋

薪木や農具置き場、漬物などの食料を保管した場所です。

11 土蔵

書籍以外で大切なものを納めていた蔵です。

12 庫主の墓

石塔十七基あり、多くは無縫塔で、そのうちの八基が判読されています。

13 収蔵庫

典籍などを格納しておくため、昭和四十二年に建てられました。

典籍

宋時代の漢籍のほか、元、明、朝鮮本やわが国の古写本などの典籍が一万七千冊あります。

国宝 四種 七十七冊
重要文化財 八種 九十八冊

楷樹

中国孔子の墓所の楷樹の種を育て、大正十一（一九二二）年に植えられたものです。県の文化財に指定されています。

14 遺蹟図書館

足利学校が廃校になった以後、明治三十六（一九〇三）年に遺蹟図書館が開設され、書物を継承し現在に引き継がれてきています。現在の建物は、大正四（一九一五）年に建てられたもので、市重要文化財に指定されています。



書院から孔子廟を望む



復元された方丈、庫裡